

図書館の活動報告

附属図書館 竹下 真弓

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期はオンライン授業を実施し、学生の来館もほとんど無かったため、企画展示は後期から実施した。また、例年、本学卒業生と森田地区住民の方には貸出を行っていたが、現在は、中止している。今回の報告では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い新たに実施した図書館サービスも併せて記したいと思う。

●2020年5月「郵送での図書貸出サービス」

5月7日(木)より、所蔵資料の貸出を送料無料で実施した。利用者は3名で貸出冊数は6冊だった。

●2020年6月「申込制による図書館開館」

6月1日(月)より、事前申し込み制で図書館を開館した。貸出は、授業に関連のある資料や就職に関連のある資料に限定し、館内での閲覧は不可とした。利用者は80名だった。

●2020年6月「電子書籍の利用」

6月1日(月)より、丸善雄松堂の協力もあり、家で電子書籍の閲覧が可能になった。事前申し込み制で、11名の申し込みがあった。

●2020年9月「本屋大賞受賞作品展」

2020年本屋大賞受賞作『流浪の月』胤良ゆう著をはじめ、候補作品9冊を展示した。



●2020年10月「創作絵本展」

本学の生活デザイン専攻2回生が「デッサンII」の授業で創作した25作品を展示した。絵やお話、絵本カバーまで全てオリジナル絵本。他学科・他専攻の学生たちも興味深くページをめくっていた。



●2020年11月「絵本なぞなぞシリーズ作品展」

幼児教育学科保育内容指導法「言葉」(1回生)の授業で創作された作品。学生が創作したなぞなぞとそれに関連する貼り絵が施されていた。学生の言葉遊びの巧みさとカラフルな作品で図書館がぱっと明るくなった。



●2020年12月「ふるさと風花文庫」

福井県立図書館「ふくい風花随筆文学賞」実行委員会様より、若い世代が読書や文芸創作への興味・関心が高まることを目的として選書された「ふるさと風花文庫」全110冊を仁短図書館に貸出していただいた。バラエティ豊かな文庫を前に学生は興味津々で、目を輝かせて選んでいた。



●2021年1月「図書館サポーター選書本」

図書館サポーター12名が選書した図書など63点をおすすめのコメントを添えて展示した。同年代の学生が選ぶ図書は、様々な分野の内容が並び、毎年人気のコーナー。



●2021年2月「サークルとコラボ企画」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サークル活動が困難な中、「猫部」がネコの写真を展示してくれた。題して「ねこ好きの ネコ好きによる 猫好きのための写真展」。ネコ関連の絵本や書籍も併せて展示した。



●2021年2月「第8回青空文庫表紙コンテスト」

Webサイト「青空文庫」には著作権の切れた古い文学作品が掲載されている。その中から3作品（今年は、『オツベルと象』・『一年生たちとひよめ』・『赤いくつ』）を図書館が選び、作品の持つ魅力を一層際立たせる様な「表紙デザインコンテスト」を行った。優秀賞受賞者には、副賞として図書カードと作品を表紙にした文庫本を贈呈している。

今年度
優秀賞受賞作品



今後も、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、このような状況下でも可能な図書館活動を模索していきたい。そして、安心して図書館を利用してもらえるよう努めていきたいと思う。